

## 目標達成シナリオ小委員会の今後の検討方針について（案）

### 1. 背景

昨年 12 月にとりまとめられた中央環境審議会「地球温暖化防止対策の在り方の検討に係る小委員会」報告書では、「地球温暖化対策推進大綱に示された 6 % 削減目標を巡る状況は、大綱を策定した時点と大きく変わりつつある。」とし、「こうした状況の変化に鑑み、6 % 目標の達成内訳についても、最新の情報を踏まえて総合的に検討することが適当であり、中央環境審議会においてもこうした検討を行うことが必要である。」としている。

このため、去る 2 月 16 日に開催された中央環境審議会地球環境部会の第 1 回会合において、地球環境部会の下に、「国内制度小委員会」とともに「目標達成シナリオ小委員会」を設置することが了承された。この「目標達成シナリオ小委員会」においては、削減目標の達成シナリオ策定のための技術的検討を行い、各種対策の削減ポテンシャル等を詳細に分析し、その結果を地球環境部会に報告することとされている。

### 2. 当面の検討方針

議定書の 6 % 削減目標を確実に達成するためには、必要な国内制度を構築・整備を進めていくことが不可欠であるとともに、地球温暖化対策推進大綱の策定以後の情勢変化を踏まえ、各種対策の削減ポテンシャル等を詳細に分析する必要がある。

このため、目標達成シナリオ小委員会では、環境省における「平成 12 年度温室効果ガス削減技術シナリオ策定調査検討会」の成果を参考として、以下の基本の方針に基づき審議を進めていくこととする。

なお、国内制度小委員会との連携を図るため、本小委員会の検討内容を適宜、国内制度小委員会に報告する。

#### 2.1. 各部門における現行施策の評価について

上記検討会の成果を参考として、「二酸化炭素（業務、家庭、運輸、産業、エネルギー転換、非エネルギー起源）」、「メタン」、「一酸化二窒素」、「HFC 等 3 ガス」の各部門における現行施策の評価を行うとともに、現行施策の課題を明らかにする。

## 2.2. 削減ポテンシャルについて

上記検討会の成果を参考として、削減目標の達成シナリオ策定のため、各種対策の削減ポテンシャル等について、コストの評価も含め詳細な検討を行う。

## 3. 今後の検討スケジュールについて

	議 題
第 1 回 ( 3 月 29 日 )	目標達成シナリオ小委員会の今後の検討方針について
	地球温暖化に関する最新の科学的知見について
	温室効果ガス削減技術シナリオ策定調査検討会報告について
第 2 回 ( 4 月 9 日 )	民生部門における現行施策の評価と今後の削減ポテンシャルについて
	非エネルギー起源CO <sub>2</sub> 、メタン、一酸化二窒素に係る現行施策の評価と今後の削減ポテンシャルについて
第 3 回 ( 4 月 日 )	運輸部門における現行施策の評価と今後の削減ポテンシャルについて
	HFC 等 3 ガス部門における現行施策の評価と今後の削減ポテンシャルについて
第 4 回 ( 5 月 10 日 )	産業部門における現行施策の評価と今後の削減ポテンシャルについて
	エネルギー転換部門における現行施策の評価と今後の削減ポテンシャルについて
第 5 回 ( 5 月 31 日 )	進捗状況管理に必要な情報等について
第 6 回 ( 6 月 14 日 )	報告書案について
第 7 回以降 未定	報告書案について